

厚生・産業常任委員会資料
平成24年（2012年）5月16日
商工観光労働部

県内の経済雇用情勢について

商工観光労働部

1. 県内の経済情勢

●企業景況(DI)の推移(H24.1-3月期)

生産、売上、経常利益、業況のDIはマイナス幅が拡大した。
来期も各DIのマイナス幅が拡大する見通し。

●経済指標からみる県内経済の動向 (H24. 4)

持ち直しの動きにあるものの、一部に弱い動きがみられる。

・生産動向

持ち直しつつある。

H17=100

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
鉱工業生産指数	102.8	104.9	96.7	98.4	99.4	99.3	104.4	99.8

・個人消費

一部に弱い動きがあるものの、持ち直しつつある。

(前年同月比)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
大型小売店販売額 (販売額)	4.7	▲0.1	▲1.8	▲0.8	▲2.0	▲0.5	▲1.4	0.1
乗用車新規登録台数	▲24.5	▲26.6	10.4	40.2	20.6	29.4	48.9	43.2

●企業倒産 (H23. 5 東京商工リサーチ調べ)

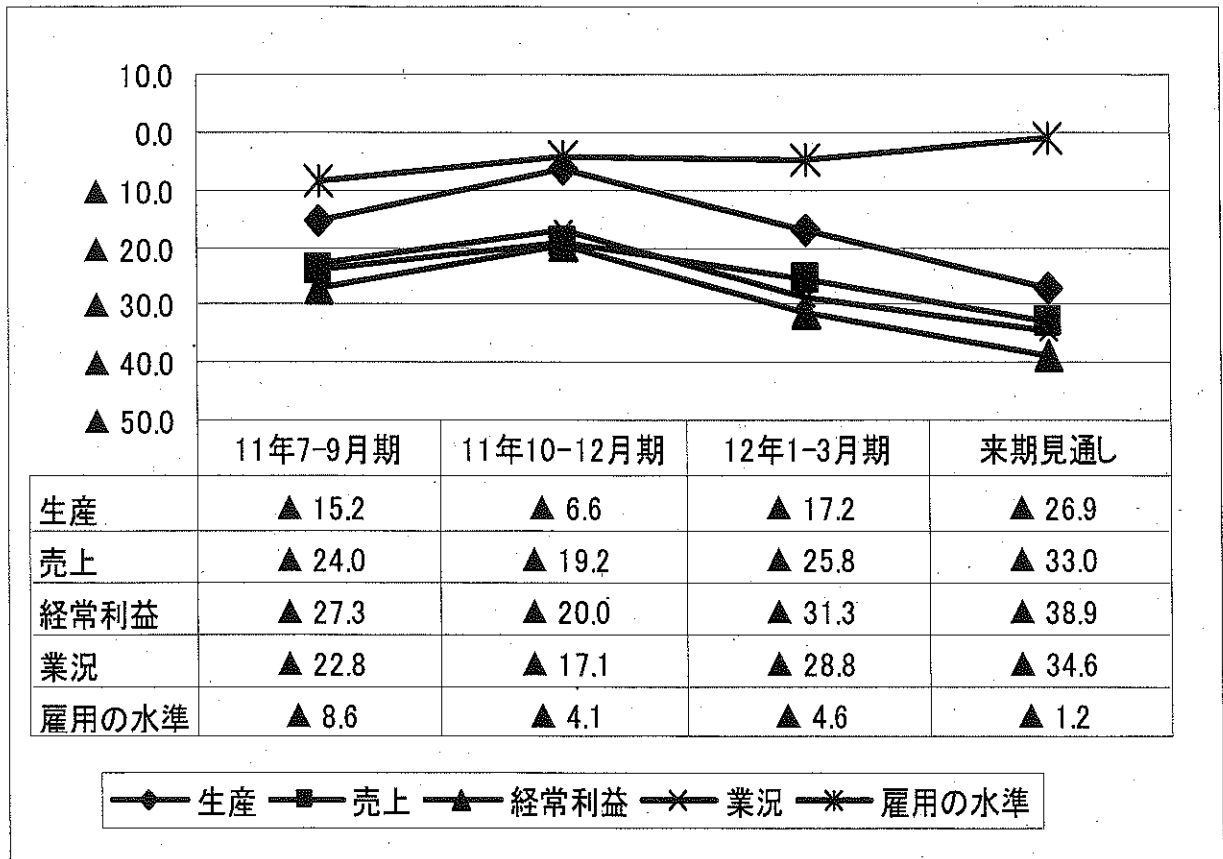
・H24年4月:件数 4件(▲42.9%)

負債額 1億8,200万(66.4%)

()前年同月比

企業景況(DI)の推移

(県商工政策課調べ)



■ 企業調査(H24年1月～3月期)の結果

【目的】県内景況を把握するため四半期ごとに企業サイドの景況感を調査

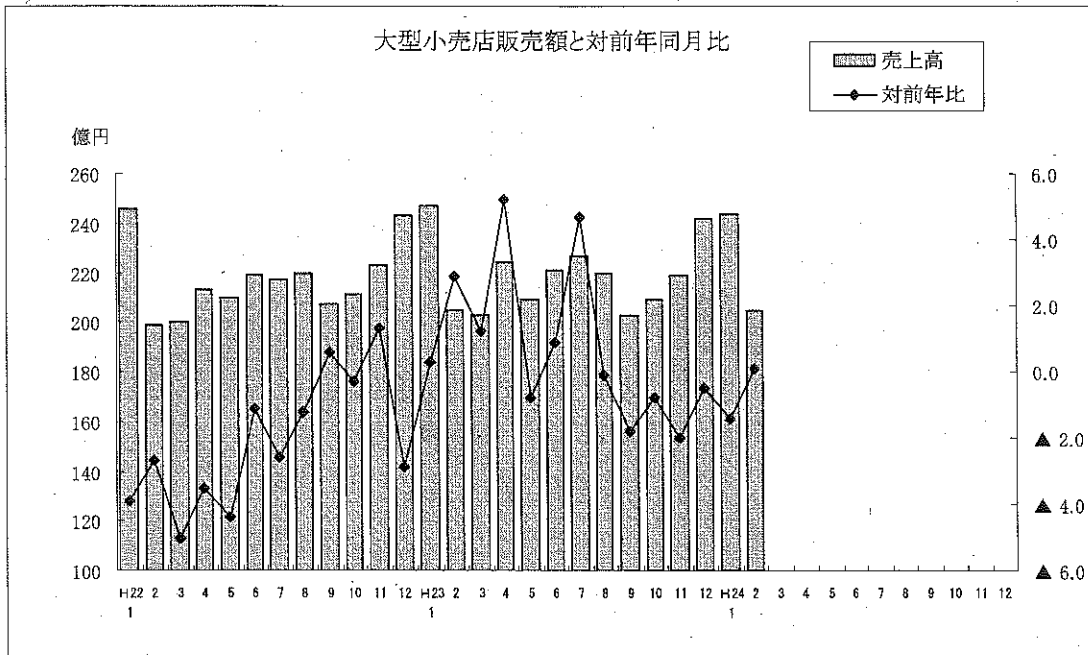
【調査期間】H24年1月～3月

【調査客体・手法】県内の事業所(749事業所)郵送アンケート、訪問によるヒアリング

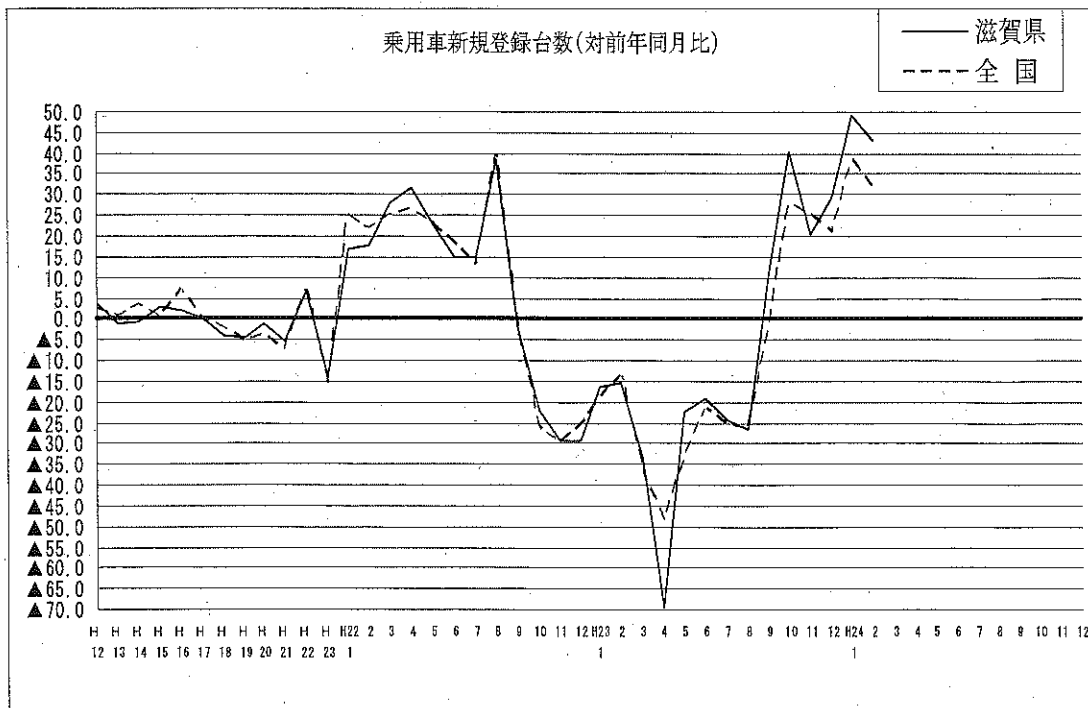
注)DIとは、各調査項目についての増加(好転・上昇等)割合から、減少(悪化・低下等)割合を差し引いた値を示す。雇用の水準DIでは、「過剰」-「不足」として算出するので、プラスになれば人員過剰、マイナスになれば人員不足となる。

個人消費動向 (大型小売店販売額の推移/乗用車新規登録台数)

(資料:近畿経済産業局/滋賀県自動車税事務所・軽自動車検査協会滋賀事務所)



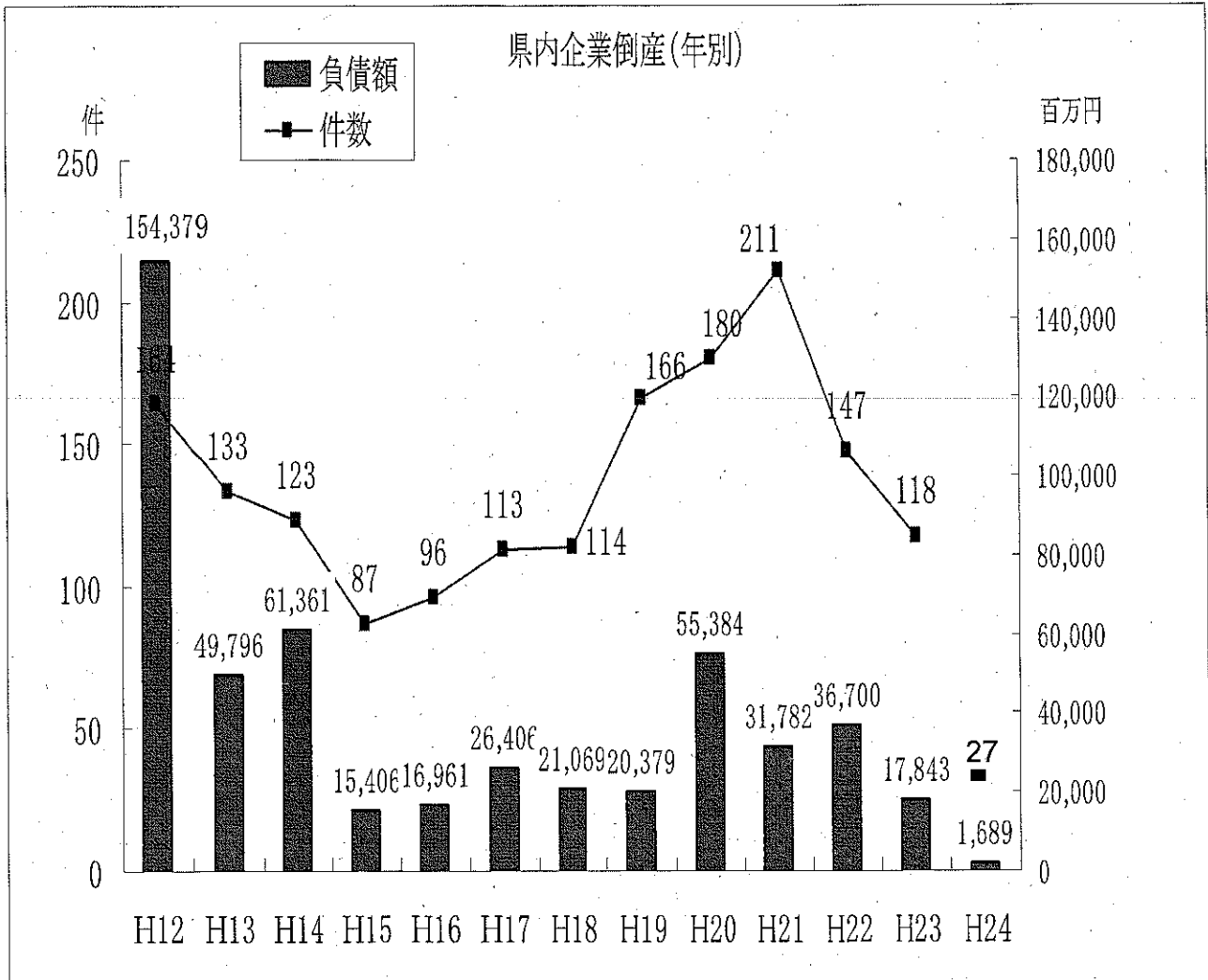
・7ヶ月ぶりに前年同月を上回る



・6ヶ月連続で前年同月を上回る

県内企業の倒産状況

(東京商工リサーチ調べ)



(平成24年は1月～4月の合計)

平成24年1月～4月の主な倒産原因

- 販売不振 15件 (55.6%)
- 既往のしわ寄せ 6件 (22.2%)
- 放漫経営 3件 (11.1%)

不況型倒産と呼ばれる「販売不振」、「既往のしわ寄せ」等の合計は77.8%で高止まりの状況。

() 構成比

2. 県内の雇用情勢

(厚生労働省調べ)

●有効求人倍率

平成24年3月 全国 0.76倍 滋賀県 0.66倍(前月差 0.01)

有効求人倍率	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
滋賀県	0.61 (▲0.01)	0.59 (▲0.02)	0.60 (0.01)	0.61 (0.01)	0.63 (0.02)	0.65 (0.02)	0.66 (0.01)
全国	0.67 (0.01)	0.68 (0.01)	0.69 (0.01)	0.71 (0.02)	0.73 (0.02)	0.75 (0.02)	0.76 (0.01)

●新規求職者数・新規求人数・新規求人倍率

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規求職者数	7,352人	7,224人	6,324人	5,035人	7,677人	8,038人	8,667人
新規求人数	7,723人	6,721人	6,870人	6,278人	8,609人	8,641人	8,545人
新規求人倍率	1.05	0.93	1.09	1.25	1.12	1.08	0.99

新規求人倍率は原数値

●非正規労働者の雇い止め等

・平成24年3月から平成24年6月までの実施済みまたは予定として、新たに把握されたのは、0人

(平成24年3月17日～4月16日までに把握されたもの)